

古きを訪ねて新ひきを知る 9

文化財保護課 224-6097

三変稲荷神社古墳

小仙波町四丁目の住宅街を歩くと、大きな木と鳥居が見えてきます。鳥居の奥には、小さな社が建つ低い土山があります(写真)。これは仙波古墳群の一つ、三変稲荷神社古墳です。現在は角が削られています。現在は一辺が二十二メートルの方墳です。四世紀前半ころに造られ、県内でも最古級を誇ります。



副葬品として、銅製の甕龍鏡や碧玉製石釧(腕輪)が見つかっています(市立博物館の常設展示)。特に甕龍鏡は、当時大きな力を持っていた畿内政権から各地の豪族へ、権威の象徴として配られたと考えられています。同古墳に埋葬された人物が、政治的にとても強い力を持っていたことを示しています。

当時造られた古墳は、都市化の波に押され、平らになってしまったものがほとんど。その中で同古墳では、市街地にありながら、約千七百年前の古代の面影を見ることができます。

川越のユズ



独特の香りと果皮の色が鮮やかなユズ。薬味・ポン酢・ゆずこしょう・ゆず茶など、なじみ深い方も多いのでは。

5月ごろに白い花が咲き、夏に果実が膨らみ始め、黄色に色づく12月が収穫期です。



「自分が小さい時から、ほとんど木の大きさが変わっていない」という山田正雄さん(75歳・芳野)の家のユズは、家の屋根ほどもある高さ(右写真)。樹齢100年は超えているそうです。また、収穫量が多い年と少ない年を繰り返し、「今年の収穫量は少なめ。去年は、木全体が真っ黄色だった」とか。

栄養面では、クエン酸やビタミンCが多く含まれ、疲労回復や風邪予防にお勧めです。うどん・雑煮の薬味はもちろん、今年の12月22日の冬至にはユズ湯として、さわやかな冬の香りが楽しめます。

おいしい 作ってみませんか? ユズのはちみつ漬け

- ①皮を細切りにする。
- ②はちみつと砂糖を混ぜ、実の搾り汁を加える。
- ③冷蔵庫で一晩寝かせて、できあがり。

編集後記

どんぐり

小 江戸川越サツマイモカップを取材。

サッカーを通じて「サツマイモの街・川越」を市内外の方に知ってもらおうと、川越サツマイモ商品振興会が主催した大会です。小学2年生以下の参加選手のお目当ての一つは、焼き芋が配られること。会場に漂うおいしいそうなおい……。われ先にと走ってくる子供たち。試合の合間に熱々をほおぼります(表紙写真)。「甘〜い!」「皮まで食べられるよ」とペロッと平らげ、次の試合に向け、パワーを補給していました。皆で頑張った試合と、皆で食べたサツマイモ……。楽しい思い出として持ち帰ったことでしょう。

小江戸川越観光 キャッチフレーズ

とき

薫るまち

川越